

富山県成長戦略会議「人口未来戦略」提言（概要）

令和6年10月
富山県成長戦略会議

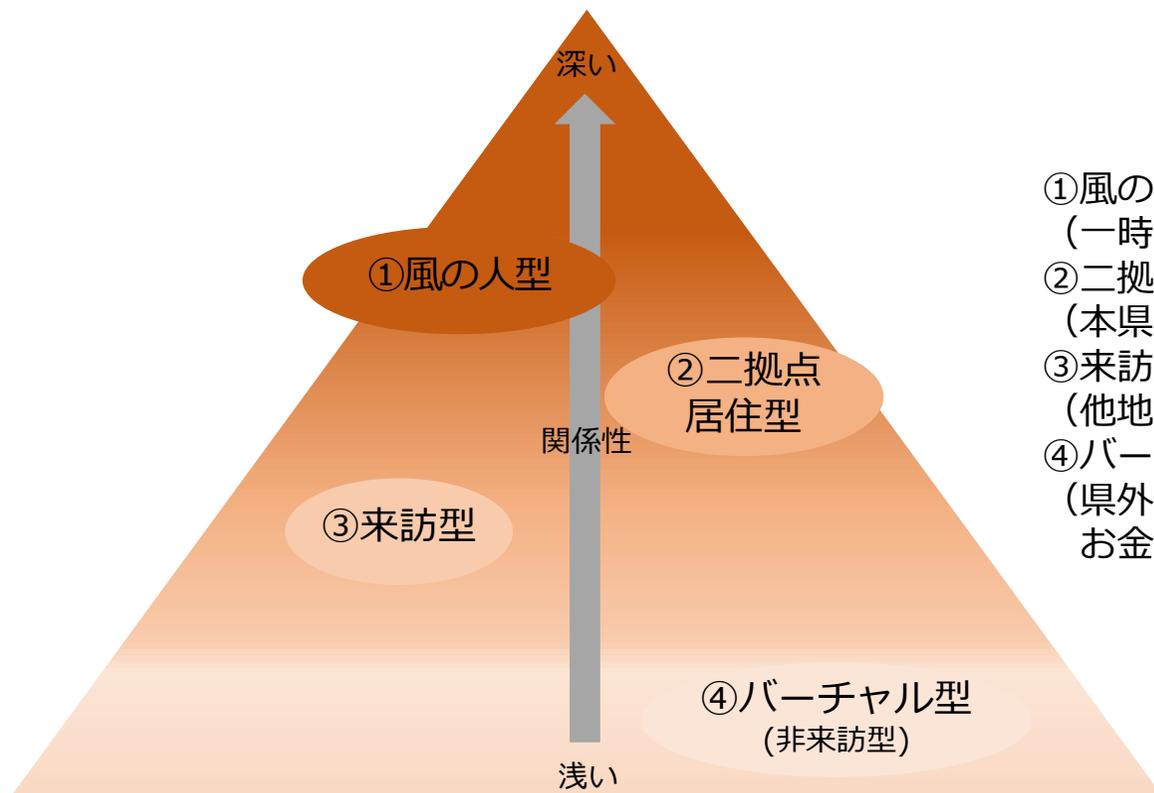
1. 富山県成長戦略会議「人口未来戦略」検討の経緯

- これまで、人口減少が進む中、関係人口の拡大により、成長戦略のビジョン「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」の実現に向けた戦略を議論
- 定住人口の減少を抑制する対策等と併せて、関係人口の拡大・深化と定住人口減少抑制の好循環の創出を目指す。



2. 関係人口の拡大・深化に向けて実施すべき施策概要

関係人口を、①風の人型、②二拠点居住型、③来訪型、④バーチャル型（非来訪型）の4つの類型に分類



- ①風の人型
(一時的な居住経験があり、その後行き来する人)
- ②二拠点居住型
(本県と他地域に拠点をもち、行き来する人)
- ③来訪型
(他地域から訪れる人)
- ④バーチャル型
(県外にしながら、ふるさと納税や特産品の購入など、
お金や物を媒介してつながる人)

3. 行動変容のための戦略仮説

癒しの環境	仮説モデルA	「癒しを求める三大都市圏のビジネスパーソンとその家族」をターゲットに、心身を再生できる「癒しの環境」を訴求し、「来訪型」「二拠点居住型」の関係人口を創出する
	仮説モデルB	「癒しを求める海外のデジタルノマド人材」をターゲットに、心身を再生できる「癒しの環境」を訴求し、「来訪型」の関係人口を創出する
子育て・教育環境	仮説モデルC	「富山への転勤者やその家族」をターゲットに、こどもまんなか社会を掲げる本県の「子育て・教育環境」を訴求し、「風の人型」の関係人口を創出する
	仮説モデルD	「過熱する受験競争など都会の子育て・教育環境に違和感を持つ都市部の保護者」「子育てと仕事の両立を望む子育て世代」をターゲットに「子育て・教育環境」の選択肢を広げ、訴求することで、「来訪型」「二拠点居住型」の関係人口を創出する
魅力的なネットワーキング人材	仮説モデルE	「コミュニティに属している人」をターゲットに、カリスマ的な県内事業者や恵まれたスポーツ環境など「人・コトの魅力」を訴求し、「来訪型」の関係人口を創出する
多様な産業集積	仮説モデルF	「ヘルスケア・医療・半導体などの富山県の産業集積に関わりのある企業」をターゲットに、工業立県としての「産業クラスター集積のメリット」を訴求し、「来訪型」の関係人口を創出する

4. 富山県成長戦略会議での検討経過

第1回会議_6/7（金）

富山県成長戦略会議「人口未来戦略」の検討

第2回会議_7/2（火）

富山県成長戦略会議「人口未来戦略」の検討

第3回会議_7/30（火）

富山県成長戦略会議「人口未来戦略」の検討

第4回会議_9/4（水）

富山県成長戦略会議「人口未来戦略」提言（案）の検討

第5回会議_10/3（木）

富山県成長戦略会議「人口未来戦略」提言とりまとめ、
県へ提言